

名前：

私は、インターネットが世界的に広まった後でも、新聞や雑誌はこれまで通り必要であると思う。その理由は主に4つある。

1つ目は、インターネットは回線をつなぐにしてもパソコンの画面をONにするにしても電気が必要となる。情報源をほぼインターネットに頼むということは、電力に大きく依存した生活になるということであるので、電力不足に陥、たとき何の情報も得られなくなってしまう。その点新聞や雑誌は紙を媒体としているのだから、電気よりも安定した供給が得られると思う。

2つ目は、パソコンの画面を長時間見続けることが目に与える影響が懸念されるということである。恐らく、これからはいよいよ見やすい画面もどんどん開発されていくだろうが、それでも、新聞や雑誌を読むときと比べれば目にかかる負担は大きいのではないだろうか。

3つ目は、ディジタルディバイス、いわゆる情報格差の問題である。いくらインターネ

ットが世界中で爆発的な普及を見せているとは言え、まだ生活の中に浸透してない人もたくさんいる。そのことを無視して新聞や雑誌を無くしたら、彼はますます情報入手が困難となるだろう。

最後は、情報の正確性の問題である。現在も問題になっている通り、インターネット上の情報は発信源が曖昧であるため、無責任なものであることが多い。新聞や雑誌も、もちろん編集に携わる人間によって様々なバイアスがかかっているだろうが、それでも無責任な情報を記載することはないだろう。それは新聞や雑誌に私たちが一定の信頼を置いており、それゆえそれらに対する統制の目も厳しいものであるからだと思う。

以上より、私はインターネットでニュースが見られようになっても、新聞や雑誌はこれまで通り必要であると思う。